

長野県スポーツ推進計画の進捗状況の評価検証について

長野県スポーツ推進計画の進捗状況の評価検証について

1 評価の対象

スポーツ推進計画に掲げた基本目標

2 評価の時期

原則として、前年度末までの実績を踏まえ評価する。

3 評価の観点

基本目標ごとに達成目標に係る指標の実績値の推移、基本目標を構成する主な事業の成果などを踏まえて、基本目標の達成状況を明らかにするとともに、施策のねらいと達成に向けた課題や今後の取組方針を示す。

4 基本目標等評価の実施方法

- ① スポーツ課は、別添の「基本目標評価調書」の原案を作成の上、スポーツ推進審議会に提出し、自己評価に対する意見を求める。

なお、意見徴取に当たっては、進捗状況の判断材料となる目安値を定めることとし、この目安値に対する判断基準を3段階（「順調」、「概ね順調」、「努力を要する」）に分けて自己評価する中で、意見を求める。

県の自己評価の妥当性について検証をいただき、次のとおり「妥当」「概ね妥当」「妥当でない」の区分で評価をお願いする。

- 妥当 : 県の自己評価が妥当である場合は「妥当」とする。
- 概ね妥当 : 県の自己評価に大きな問題はないが、分析が足りない点がある場合などは「概ね妥当」とし、評価上の留意事項や施策推進のための意見を記載する。
- 妥当でない : 県の自己評価に異議がある場合は、理由を付した上で「妥当でない」とし、審議会の認識を記載する。

- ② スポーツ課は、基本目標評価調書原案及びこれに対するスポーツ推進審議会の意見並びに当該意見に対するスポーツ課の対応方針を内容とする評価書を作成する。

- ③ 評価書の決定後は、速やかに、スポーツ課ホームページ等において公表し、広く県民等からの意見を求め、今後の施策に反映させるよう努めるものとする。

【進捗区分の判定基準】

- 順調 : 実績値が目安値以上
- 概ね順調 : 進捗率が 80%以上 100%未満
- 努力を要する : 進捗率が 80%未満
- 実績値なし : 実績値が把握できない場合

※進捗率 = (実績値 - 基準値) / (目安値 - 基準値)

基本目標評価調書【案】

基本目標	
------	--

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	
施策の展開	

■ 評価

1 施策の達成状況

(1) 測定指標の進捗状況

進捗状況	指標名	単位	基準値 (H22年度)	H25年度			目標値 (H29年度)	評価	
				目安値	実績値	26			27

(2) 取組の主な成果の状況(25年度実績)

--

2 課題と今後の取組方針

--

3 スポーツ推進審議会の評定・意見

【評定】県の評価は である。

基本目標評価調書【案】

基本目標	1 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
------	--------------------------

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	長野県版運動プログラムが、幼稚園・保育所、学校、地域のクラブ等に普及して、運動やスポーツをする元気な子どもが増加しています
施策の展開	1 幼児期からの子どもの体力向上策の推進 2 学校の体育に関する活動の充実 3 子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実

■ 評価

1 施策の達成状況

(1) 測定指標の進捗状況

進捗状況	指標名	単位	基準値 (H22年度)	H25年度			目標値 (H29年度)	評価		
				目安値	実績値					
	体力合計点	点	49.1	49.6	49.3	49.9	50.2	50.6	51点台	努力を要する
	体力合計点の全国順位	位	31	29	29	27	25	22	10位台	順調

(2) 取組の主な成果の状況(25年度実績)

○長野県版運動プログラム普及事業である「キッズ運動遊びどこでもゼミナール」は、幼稚園・保育園の園児や保育士、小学校の児童や教職員、地域の指導者、保護者を対象に、5地区で計10回開催した。幼稚園・保育園、学校、家庭、地域など、生活の中に運動やスポーツを取り入れ習慣化するきっかけとなっている。

○「体づくり運動」実技講習会は、小学校児童を対象に走り方を中心とした内容を10校で、中学校生徒を対象にコアトレーニングを中心とした内容を15校で開催した。各校で作成する「体力向上プラン」の1校1運動等、体力向上に向けた取組を充実させることができた。

○「子どもの体力向上指導者研修(学校体育指導者中央研修)」に県内小中高等学校から8名参加し、研修内容を郡市代表の教員に対して伝達するとともに、各郡市においては、伝達を受けた教員により、指導力向上の研修会を開催した。日々の授業に活かせる内容を伝達することができた。

○小中高等学校体育・スポーツ研究協議会を6会場で開催し、549名の体育主任が参加した。体力向上に係る講演、各校が作成した「体力向上プラン2013」をもとにしたグループ協議等を実施し、体力向上へ向けた取組について情報交換し、共有することができた。

○長野県障がい者福祉センター(サンアップル)において、障がいのある子を対象としたスポーツ体験教室等のイベントを実施した。障がいのある子がスポーツに親しむ機会の提供を行った。(健康福祉部)

2 課題と今後の取組方針

○モデル市町村を中心に「キッズ運動遊びどこでもゼミナール」を、希望する市町村で小学校・中学校の「体づくり運動」実技講習会を開催する。
これまで、小学校の「体づくり運動」実技講習会では「走運動」を中心に行っていたが、「投運動」も加えて実施するなど、より充実した内容となるようにしていく。

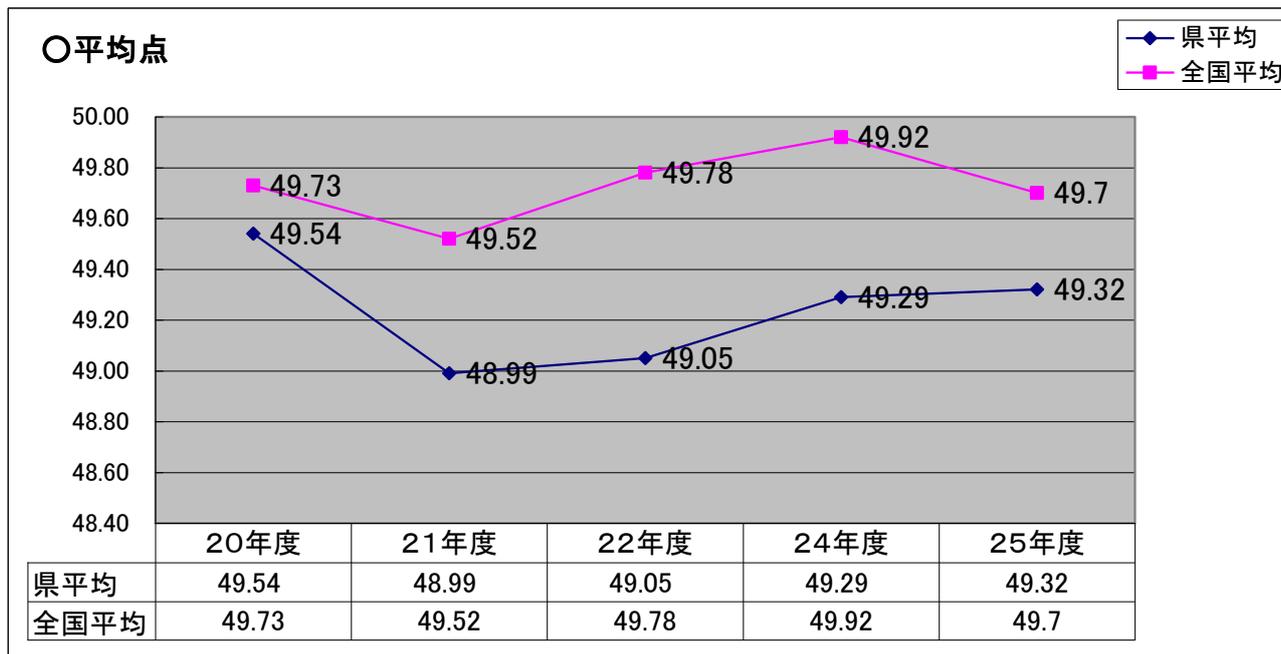
○体育(保健体育)の授業を除き、1週間の総運動時間0分の割合が増加し、運動をする子としない子の二極化が依然顕著であることや、小学校に入学する前から、「運動やスポーツが嫌い」または「運動やスポーツがやや嫌い」と回答した児童が男女とも10%を越えていることから、幼児期から運動遊びに親しみ、生活の中に取り入れて習慣化させていくため、幼児期からの運動プログラムを開発し、普及していく。

○小中高等学校体育・スポーツ研究協議会において、「教育課程編成・学習指導の基本」をもとに日々の授業改善についての啓発や1校1運動の良い取組事例等の情報提供を継続して行う。
指導主事・専門主事会議教科別部会等で、教育事務所や体育センターと取組の成果や課題について協議する。

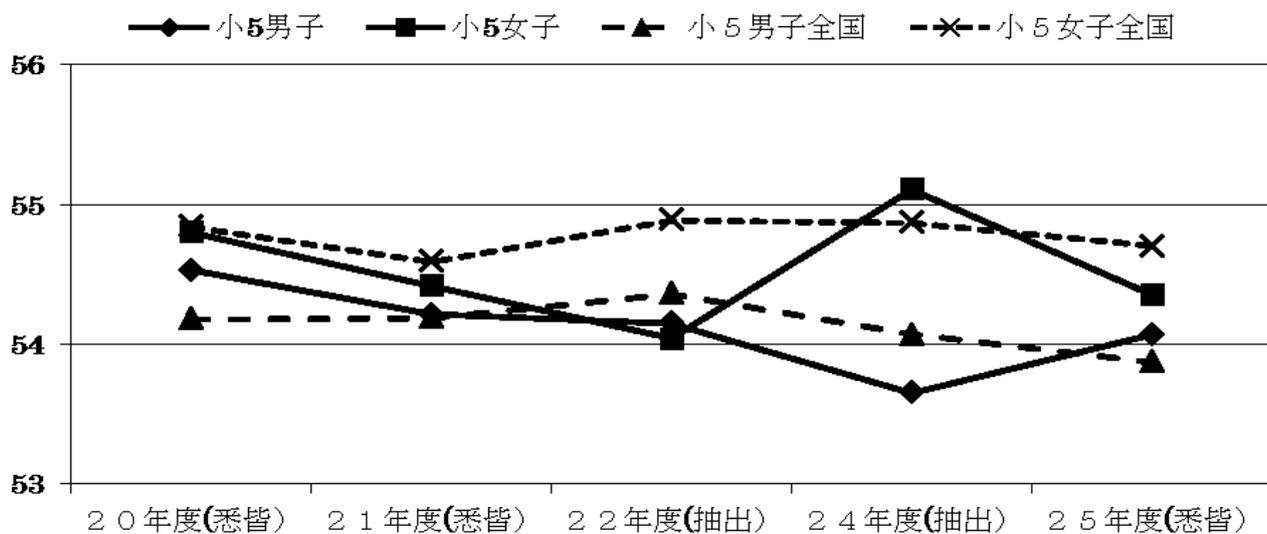
3 スポーツ推進審議会の評定・意見

【評定】県の評価は である。

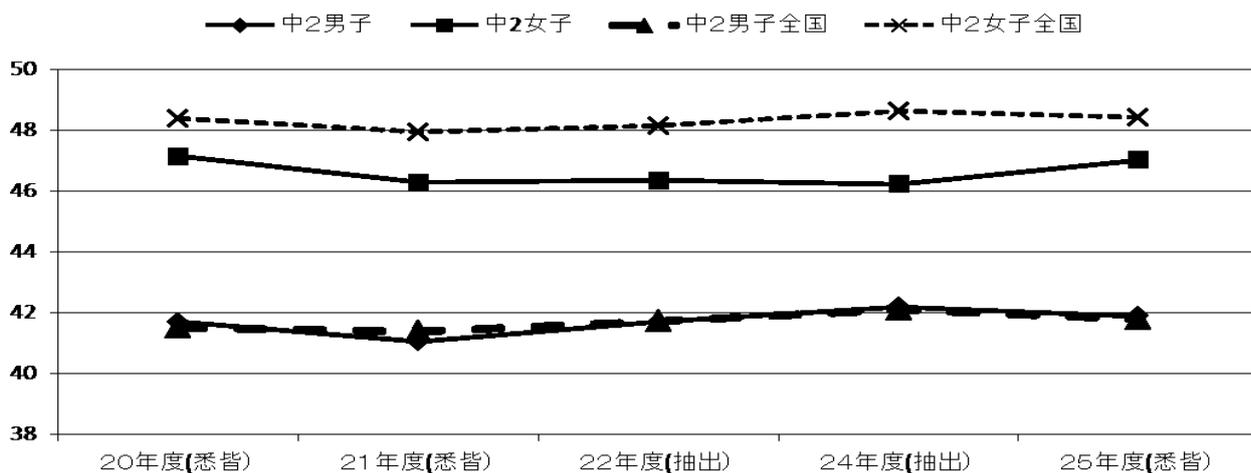
全国体力調査 「体力合計点」の推移（平成20～25年度）



○小学5年生



○中学2年生



基本目標評価調書【案】

基本目標	2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
------	------------------------

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	県民誰もが、年齢、体力、技術、適正、興味・目的に応じて安全にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けた取組みが進んでいます
施策の展開	1 ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進 2 スポーツにおける安全の確保

■ 評価

1 施策の達成状況

(1) 測定指標の進捗状況

進捗状況	指標名	単位	基準値	H25年度		26	27	28	目標値 (H29年度)	評価
				目安値	実績値					
運動・スポーツ実施率	週1回以上実施	%	48.3 (H24実績)	51.6	51.6	54.9	58.2	61.6	65.0	順調
	週3回以上実施	%	27.9	28.3	29.0	28.7	29.1	29.5	30.0	順調
	1年に一度もしない	%	10.3	8.2	11.8	6.1	4.0	1.9	0に近づける	努力を要する
	障がい者の主なスポーツ大会、イベント、教室等の参加者数	人	14,731 (H23実績)	15,325	17,498	16,194	16,694	17,209	17,700	順調

(2) 取組の主な成果の状況(25年度実績)

<p>○県主催スポーツイベント(県民フェスティバル、スポーツ天国)の実施により、県民のスポーツ参加意識の向上を図った。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの育成、安定運営の支援のため、連絡協議会やクラブへの指導者派遣、アシスタントマネージャー講習会等を実施した。</p> <p>○県体育センターにおいて、幼児や高齢者の運動プログラムやスポーツ推進委員のための研修講座等を実施し、スポーツ指導者の育成を図った。</p> <p>○ホームページ「障がい者スポーツナビ」を通じて積極的に広報を行った結果、地区及び県障がい者スポーツ大会、車いすマラソン大会、障がい者スキー大会等、各種スポーツ大会には3,956人の参加があった。 長野県障がい者福祉センター(サンアップル)における、各種障がい者スポーツ教室、イベントには13,313人が、また、NPO法人長野県障がい者スポーツ協会における、障がいのある子を対象にしたプロスポーツ選手との体験教室やダンス教室等には229人がそれぞれ参加した。(健康福祉部)</p> <p>○ホームページ等の広報媒体を通じ、各種スポーツ大会や団体等の情報発信を行った。</p>

2 課題と今後の取組方針

<p>○今年度から県主催のスポーツイベントが一本化されたことに伴い、内容の精選、種目や実施時期を検討し、県民がより参加しやすく、県民のスポーツの普及に効果的なイベントとしていく。</p> <p>○スポーツボランティアの活動機会の促進のため、ボランティアとして参加できる大会やイベントの情報提供を行う。</p> <p>○地域におけるスポーツ事故、外傷、傷害の状況把握をする。</p> <p>○障がい者の自発的なスポーツ活動を促すとともに、障がい者スポーツに対する県民の理解を促進するため、積極的に障がい者スポーツを広報する。NPO法人長野県障がい者スポーツ協会等と連携し、体験教室等を実施する。(健康福祉部)</p>

3 スポーツ推進審議会の評定・意見

【評定】県の評価は である。

運動・スポーツの実施状況（平成25年度県政モニター調査）

1 調査の概要

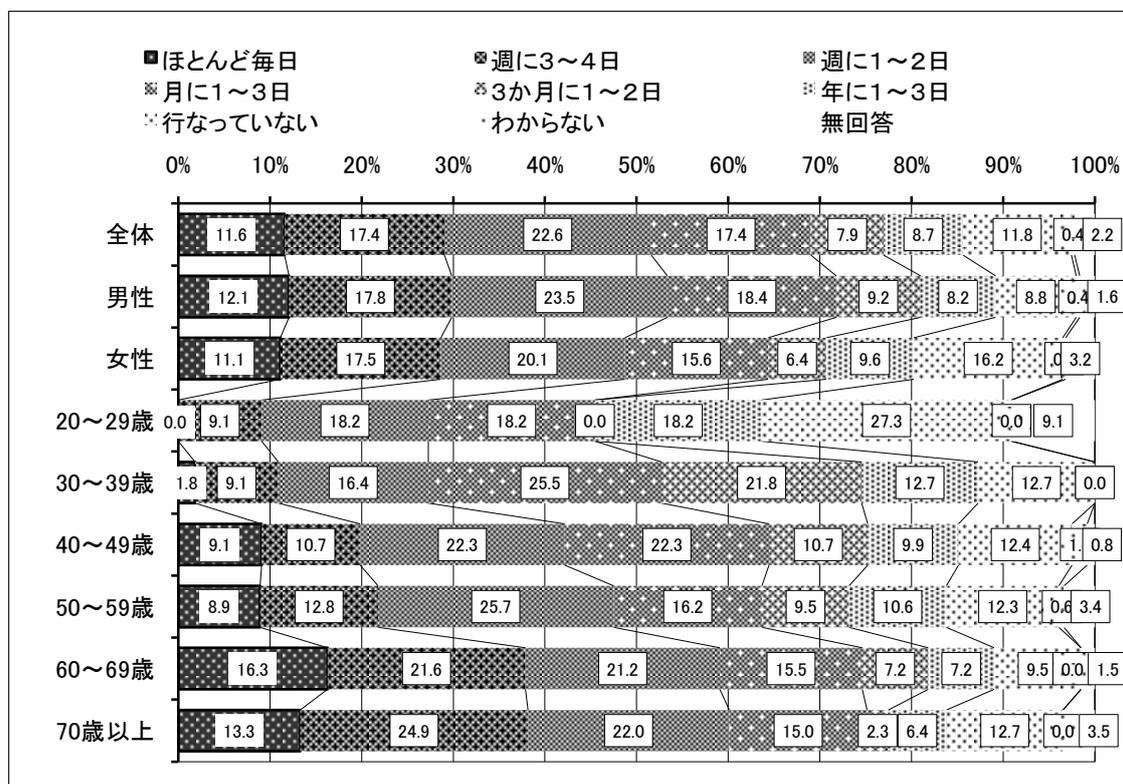
- ①調査時期 平成26年(2014年)1月23日(木)～2月3日(月)
- ②調査対象 県政モニター1,214人を対象に実施し、820人(67.5%)から回答を得た。

2 結果

問い) あなたは過去1年間に運動・スポーツを何日ぐらい行ないましたか。

	n= 820	回答数	割合	(参考)H24年度 n= 869	
		(人)	(%)	回答数(人)	割合(%)
ほとんど毎日		95	11.6	78	9.0
週に3～4日		143	17.4	164	18.9
週に1～2日		185	22.6	177	20.4
月に1～3日		143	17.4	182	20.9
3か月に1～2日		65	7.9	78	9.0
年に1～3日		71	8.7	79	9.1
行なっていない		97	11.8	90	10.3
わからない		3	0.4	9	1.0
無回答		18	2.2	12	1.4

○週1日以上運動・スポーツを行っている人が約5割。



基本目標評価調書【案】

基本目標	3 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
------	---------------------------

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	総合型地域スポーツクラブ、郡市体育協会、スポーツ少年団、公民館、その他スポーツクラブが、コミュニティの中心として、充実した活動を展開しています
施策の展開	1 コミュニティの中心となる地域スポーツクラブの育成・推進 2 地域のスポーツ指導者等の充実 3 地域スポーツ施設の充実 4 地域スポーツと企業・大学との連携

■ 評価

1 施策の達成状況

(1)測定指標の進捗状況

進捗状況	指標名	単位	基準値 (H24年度)	H25年度			目標値 (H29年度)	評価		
				目安値	実績値	26				
	総合型地域スポーツクラブの加入者数	人	17,050	19,000	18,537	20,500	22,000	24,500	25,000	努力を要する

(2)取組の主な成果の状況(25年度実績)

○総合型地域スポーツクラブ育成、安定運営に向けた支援により、平成25年度新たに4つのクラブが設立し、クラブへの加入者数も増加した。

○総合型地域スポーツクラブの連絡協議会の実施により、クラブへ情報提供することができた。また、グループ毎の情報交換会等を通してクラブ同士の連携が強化された。

○長野県スポーツ推進委員協議会の研修会を実施し、スポーツ推進委員の実技指導力や地域のスポーツ活動全般のコーディネーターとしての資質の向上を図った。

○長野県障がい者スポーツ指導員養成研修事業を、NPO法人長野県障がい者スポーツ協会に委託して実施した(受講者数33人)。また、長野県障がい者福祉センター(サンアップル)において、指導者から関心のある方までを対象にした障がい者スポーツ研修会を開催した(受講者数100人)。(健康福祉部)

○文部科学省及び日本スポーツ振興センターによる補助の制度について市町村に周知し、文部科学省から2件、日本スポーツ振興センターから6件、それぞれ補助を受け施設整備を行った。

○「長野県総合型地域スポーツクラブ普及・育成・支援事業の連携・推進に関する協定」(平成25年1月30日締結)に基づき、大学と総合型スポーツクラブに情報提供を行い連携強化を図った。

2 課題と今後の取組方針

○新たな総合型クラブが設立される一方で、平成25年度は1つのクラブが廃止となった。また、クラブの財政の問題、クラブマネージャーの問題等のため、今後存続が困難なクラブが現れてきている。今後はクラブ訪問等を更に充実し、廃止クラブを未然に防ぐ方策を講じる。

○スポーツ推進委員の資質の向上を図るため、地域スポーツのコーディネーターとしての具体的な役割が理解できる研修会を実施する。

○県の推進計画については、各地区(東信・南信・飯田地区・中信・北信)の生涯スポーツ担当者会議等で周知しているところである。今後は、市町村担当者との連携を密にし、市町村の推進計画についても進捗状況等を把握し、未策定の市町村に対しては計画の早期策定を、策定済の市町村に対しては計画の着実な推進を依頼する。

○NPO法人長野県障がい者スポーツ協会等と連携し、障がい者スポーツ指導員養成研修事業を実施する。また、スポーツ推進委員に対し、障がい者スポーツに関する理解を深めてもらう取組を進める。(健康福祉部)

○文部科学省・日本スポーツ振興センターの補助制度を利用して市町村が施設整備できるよう、積極的に広報を行う。

○総合型地域スポーツクラブと大学への情報提供を密にし、連携を更に推し進める。

3 スポーツ推進審議会の評定・意見

【評定】県の評価は である。

1 総合型地域スポーツクラブの育成状況

- (1) 総クラブ数
65クラブ(48市町村) (平成26年3月31日現在)
- (2) 平成25年度の状況

新設	スポーツクラブおぶせ(小布施町)
	総合型クラブ きらり鉢森(松本市)
	大鹿村総合型地域スポーツクラブ(大鹿村)
	大かえで倶楽部(池田町)
廃止	かがやきたいスポーツクラブ(阿南町・売木村)

2 スポーツ推進委員協議会研修会の概要

- (1) 目的
地域住民と行政との調整役(コーディネーター)としての活動について研修し、地域のスポーツ指導者としての資質の向上を図る。
- (2) 開催日
平成25年5月25日(土)
- (3) 内容
スポーツ推進委員のための研修会
(講義)スポーツ基本計画に基づく新たなスポーツ推進委員の役割について
(実習)ニュースポーツの紹介・体験

3 文部科学省及び日本スポーツ振興センターからの補助実績

- 文部科学省
2件(地域武道センター新築:1件、社会体育施設耐震化:1件)
- 日本スポーツ振興センター
6件(施設大規模改修:3件、グラウンド芝生化:1件、大型スポーツ用品設置:2件)

4 長野県総合型地域スポーツクラブ普及・育成・支援事業の 連携・推進に関する協定について

(1) 目的

総合型地域スポーツクラブの活動を通じた地域の活性化を図るため、それを担う人材育成や関連事業を連携・協力して推進する。

(2) 協定概要

① 当事者

- ・長野県総合型クラブ連絡協議会
- ・松本大学
- ・体育センター（広域スポーツセンター）

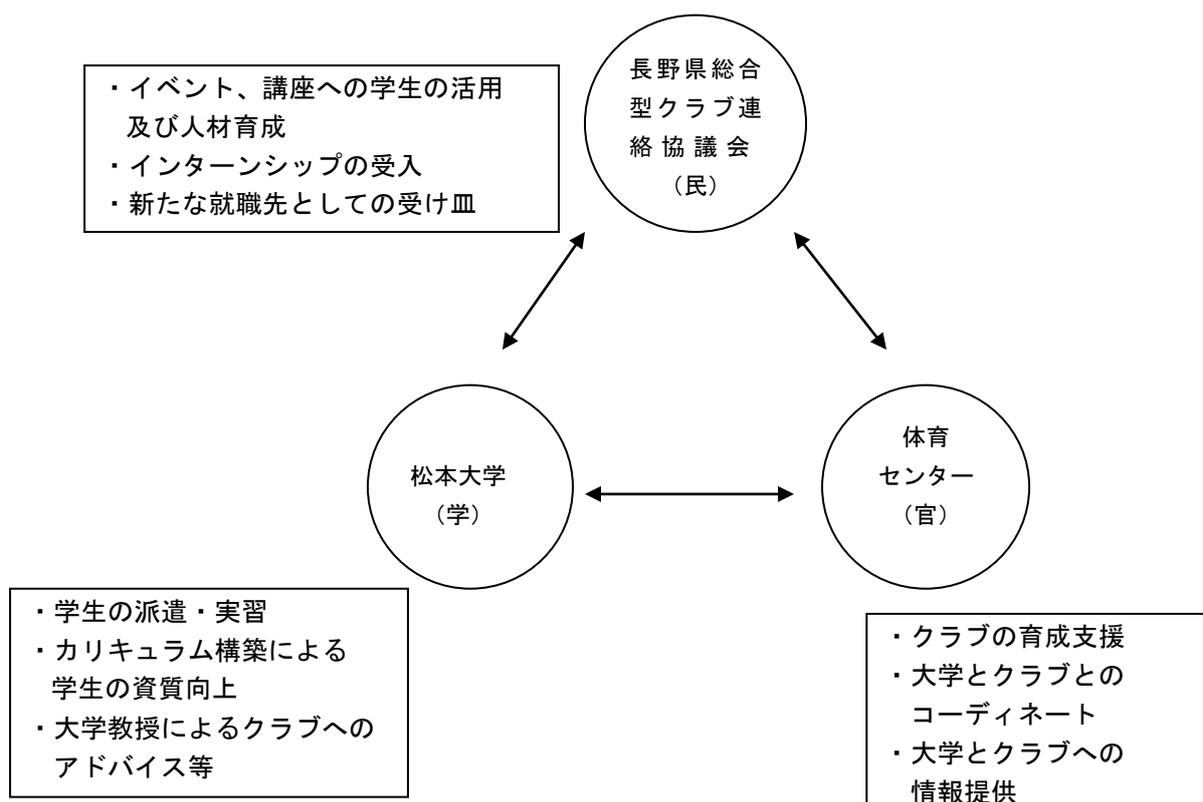
② 締結年月日

平成 25 年 1 月 30 日

③ 内容

- 協定の3団体は、次の事項について連携・協力する。
- ・総合型地域スポーツクラブの普及・育成・支援事業
 - ・総合型地域スポーツクラブに関する教育事業（授業、インターンシップ等）
 - ・その他総合型地域スポーツクラブの振興にかかる諸事業

④ 具体的な取組



基本目標評価調書【案】

基本目標	4 競技力の向上に向けた選手強化、指導者養成の推進
------	---------------------------

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	オリンピック・パラリンピックなど、国際舞台や国内大会で活躍する本県選手が増加しています
施策の展開	1 選手の育成強化、指導者養成による競技力向上 2 ジュニア選手特別強化の取組み 3 本県での開催が予定される全国大会に向けた選手強化

■ 評価

1 施策の達成状況

(1)測定指標の進捗状況

	指標名	単位	基準値	H25年度			目標値 (H29年度)	評価		
				目安値	実績値	26			27	28
進 捗 状 況	国民体育大会 男女総合(天皇杯)順位	位	17 (H24:67回)	17	17	17	16	16	15 (H29:72回)	順調
	国民体育大会 冬季大会順位	位	2	1	2	1	1	1	1	努力を要する
	国民体育大会 本大会順位	位	38	20位台	42	20位 台	20位 台	20位 台	20位台	努力を要する
	国民体育大会(少年)・全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会の入賞者数	人・団体	178	182	196	186	190	195	200	順調
	平昌冬季オリンピック(H30.2)でSWANからメダリスト輩出	-	-	-	-	-	-	-	-	1人以上

(2)取組の主な成果の状況(25年度実績)

<p>○ジュニア競技力向上を目的として、重点強化校・クラブを9校・13クラブ指定し選手育成を支援した結果、全国中学校体育大会で71種目、全国高等学校体育大会でも71種目の入賞を果たした。</p> <p>○SWANでは、全国中学校体育大会にメンバーから25人が参加し、優勝2つを含む延べ7人が入賞した。また、全日本スキー選手権フリースタイルモーグルで3位に入るなど活躍した。</p> <p>○新規事業であるマルチサポート事業は、事前合宿では12団体、本国体では16団体、冬季競技会では3団体、そして、本国体全般及び冬季競技会全般でドクター・特殊技術スタッフの活用があった。</p> <p>○「第13回全国障害者スポーツ大会(スポーツ祭東京2013)」に長野県選手団として86人(選手52人、役員34人)を派遣した。(健康福祉部)</p>

2 課題と今後の取組方針

<p>○東京オリンピックに出場できる可能性のある有望選手・競技団体に対して支援を行う、「オリンピック育成支援事業」を実施する。指定選手の活躍により本県の夏季競技における競技力向上及び底辺の拡大を図る。また、パラリンピック等国際大会で活躍できる選手についても、発掘・支援を行う。</p> <p>○中学卒業までを対象とするSWANプロジェクト終了後の強化支援の方策を検討する。</p>
--

3 スポーツ推進審議会の評定・意見

【評定】県の評価は である。

1 第68回国民体育大会における総合成績

(1) 大会概要

	開催地	開催期間	派遣選手団	大会成績				
				男女総合(天皇杯)		女子総合(皇后杯)		
				獲得点	順位	獲得点	順位	
スケート・アイスホッケー競技会	東京都 福島県	江戸川区 他 郡山市	H25.1.26～2.1	127名	222.0 (参加点20含)	2位 (前回2位)	112.0 (参加点10含)	2位 (前回1位)
スキー競技会	秋田県	鹿角市	H25.2.16～2.19	112名	127.0 (参加点10含)	3位 (前回3位)	45.0 (参加点10含)	3位 (前回4位)
本大会	東京都	調布市 他	H25.9.11～9.15 H25.9.28～10.8	508名	653.5 (参加点370含)	42位 (前回38位)	372.5 (参加点280含)	39位 (前回37位)
第 68 回 国 民 体 育 大 会				747名	1,002.5	17位 (前回17位)	529.5	16位 (前回17位)

(2) 総合成績

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
男女総合 (天皇杯)	県名	東京	大阪	埼玉	愛知	岐阜	神奈川	千葉	福岡
	得点	3486	1839.5	1813.5	1811	1681	1617.83	1524.5	1410
	前回大会	岐阜	東京	愛知	埼玉	大阪	神奈川	千葉	京都
女子総合 (皇后杯)	県名	東京	大阪	岐阜	埼玉	千葉	愛知	神奈川	福岡
	得点	1622	883.5	840	835.5	834.5	822	725.5	721
	前回大会	岐阜	東京	愛知	埼玉	福岡	大阪	千葉	兵庫

2 SWANメンバー育成状況

(平成26年6月10日現在)

期	高校生以上		中学3年生		中学2年生		中学1年生		小学6年生		小学5年生		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
1	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5
2	1	0	5	3	4	2	0	0	0	0	0	0	15
3	2	0	1	1	3	7	1	6	0	0	0	0	21
4	0	0	0	0	1	1	2	5	3	4	0	0	16
5	0	0	0	0	0	0	2	2	1	4	5	4	18
計	3	0	7	8	8	10	5	13	4	8	5	4	75
	3		15		18		18		12		9		

3 全国中学校体育大会入賞一覧

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	計		
夏 季	陸上競技	男子800m 田畑 嵩明 竜峡(3)	男子4種競技 竹村 地智 東北(3)			男子3000m 名取 燎太 富士見(3)	女子1500m 和田 有菜 川中島(2)		4 【0】		
	水泳競技			女子200m自由 岩原 純子 鎌田(3)					1 【2】		
	新体操			女子団体 赤穂				個人総合 横山 美希 旭町(3)	2 【2】		
	バレーボール	女子優勝 裾花							1 【1】		
	ソフトボール			女子 篠ノ井西					1 【0】		
	柔道男子	男子66kg級 木崎 光輝 丘(3)		男子60kg級 深沢 亮太 丘(3)				男子50kg級 茂木 才跡 軽井沢(3)	4 【2】		
柔道女子			女子63kg級 巢山 菜里 丘(3)								
冬 季	スキー (アルペン ・ノルディック ・ジャンプ)	男子クラシカル 笠原 陸 山ノ内(3)	男子クラシカル 柴田昌之 木島平(3)	女子クラシカル 松村明菜 野沢温泉(2)	男子クラシカル 岡村慧嵐 豊科北(3)	女子クラシカル 高橋莉那 白馬(2)	男子クラシカル 泉原直幸 白馬(3)	女子クラシカル 太谷好乃 白馬(1)	男子回転 井出光星 佐久東(3)	32 【36】	
		女子クラシカル 宮崎日香里 山ノ内(3)	女子クラシカル 小林千佳 飯山城南(3)	男子フリー 武田直樹 山ノ内(3)	女子クラシカル 山本明里 白馬(2)	女子フリー 高橋莉那 白馬(2)	女子フリー 内田夢加 山ノ内(3)	女子フリー 祖父江 凜 飯山城北(1)			
		男子フリー 笠原 陸 山ノ内(3)	女子フリー 宮崎日香里 山ノ内(3)	男子回転 三井和貴 白馬(3)	男子フリー 柴田昌之 木島平(3)	男子大回転 富井大賀 野沢温泉(3)	コンバインド 栗田将喜 野沢温泉(3)	女子大回転 若月 新 信濃(2)			
		女子フリー 小林千佳 飯山城南(3)		ジャンプ 柴田昌之 木島平(3)	女子回転 若月 新 信濃(2)	コンバインド 東沢優輝 野沢温泉(3)					
		女子回転 前田知沙樹 塩尻(3)			男子回転 富井大賀 野沢温泉(3)						
		男子大回転 加藤聖五 野沢温泉(3)			コンバインド 北村健士郎 小谷(3)						
		男子リレー 長野県チーム									
		女子リレー 長野県チーム									
		女子1000m 松本芽依 伊那東部(3)	女子3000m 神長汐音 南牧(2)	男子1000m 原 真尋 川上(2)	男子3000m 杉田駿介 若穂(2)	女子1000m 賀来真穂 長峰(2)	男子3000m 原田佳祐 長峰(3)	男子500m 原 真尋 川上(2)	女子3000m 田中冴実 長峰(3)		26 【16】
		男子3000m 林 莉輝 川上(3)	男子1500m 原田佳祐 長峰(3)	女子1500m 神長汐音 南牧(2)	女子3000m 岩下 楓 小海(2)	男子1500m 小島良太 櫻ヶ丘(3)	女子3000m 清水あかり 長峰(3)	男子5000m 小林裕幸 下諏訪社(3)			
		男子1500m 林 莉輝 川上(3)	女子1500m 清水あかり 長峰(3)				男子5000m 林 雅人 川上(2)				
		男子5000m 杉田駿介 若穂(2)					女子1500m 田中冴実 長峰(3)				
		男子学校対抗 川上				男子学校対抗 若穂			男子学校対抗 長峰		
		女子学校対抗 長峰			女子学校対抗 南牧		女子学校対抗 伊那東部				
計	17	7	11	9	7	9	6	5	71 【60】		

【 】は平成24年度実績

4 全国高校総合体育大会入賞一覧

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	計	
夏 季	陸上競技				男子1500m 碓井涼太 (長野日大) 3分49秒50 男子400mH 小林英和(高遠) 51秒84	男子400m 小林英和(高遠) 47秒51				3 (2)	
			女子400mH 内山成美 (長野吉田) 59秒59						女子5000m競歩 溝口友己歩 (長野東) 24分26秒27		2 (3)
	駅伝男子					佐久長聖				1 (0)	
	柔道男子									0 (1)	
	柔道女子	女子63kg級 津金恵 (松商学園)	女子57kg級 出口クリスタ (松商学園)								2 (2)
	テニス男子										0 (3)
	テニス女子	シングルス 牛島里咲 (地球環境)									1 (2)
	バスケットボール 男子										0 (1)
	新体操女子						女子団体 (伊那西)	フープ 猪又涼子 (伊那西) 14. 200	個人総合 猪又涼子 (伊那西) 26. 500		3 (0)
	弓道女子			澤村莉香子 (伊那弥生ヶ丘)							1 (1)
	水泳女子								高飛込 山口夏鈴 (学園長野) 369. 30		1 (3)
	登山		男子団体 (松本県ヶ丘)								1 (1)
	レスリング										0 (0)
	ボート女子	シングルスカル 石上璃奈 (下諏訪向陽) 4分8秒23									1 (1)
	フェンシング 男子		サーブル 大槻達哉 (伊那北)							男子学校対抗 (伊那北)	2 (0)
	フェンシング 女子		エペ 上田果歩 (伊那北)								1 (1)
空手道女子										0 (3)	
定通	卓球競技 男子団体 (箕輪進修)							陸上競技 男子400mH 古賀フェリペ (箕輪進修)		2 (2)	
冬 季	スケート男子			男子5000m 菊池耕太 (小海) 男子10000m 小林耕太 (佐久長聖)	男子1500m 由井勇矢 (市立長野) 男子10000m 菊池耕太 (小海) 男子2000mリレー (小海)	男子10000m 伊藤貴裕 (市立長野)		男子500m 菊原魁人 (野沢北) 男子5000m 小林耕太 (佐久長聖)	男子1500m 新海太智 (佐久長聖) 男子5000m 伊藤貴裕 (市立長野) 男子2000mリレー (市立長野)& (岡谷南)	12 (8)	
									男子学校対抗 (小海)	男子学校対抗 (市立長野)	2 (1)
	スケート女子		女子500m 山田梨央 (伊那西) 女子1000m 山田梨央 (伊那西)		女子500m 曾我こなみ (佐久長聖) 女子1000m 藤森美希 (佐久長聖) 女子2000mリレー (佐久長聖)	女子1000m 松澤優花里 (市立長野) 女子3000m 原 和穂 (佐久長聖)	女子500m 藤森美希 (佐久長聖)	女子1500m 原 和穂 (佐久長聖) 女子2000mリレー (小海)	女子1500m 菊池純礼 (小海)	11 (11)	
				女子学校対抗 (佐久長聖)		女子学校対抗 (伊那西)				2 (3)	
	アイスホッケー										0 (1)
	スキー男子	男子10kmF 馬場直人 (中野立志館) 男子ノルディックCB 大山陽平 (飯山) 男子リレー (中野立志館)	男子10kmF 本間有次 (中野立志館)	男子10kmC 馬場直人 (中野立志館)	男子ノルディックCB 中村優斗 (飯山)	男子ノルディックCB 山本涼太 (飯山) 男子Gスラローム 小林竜登 (飯山)	男子ノルディックCB 佐藤成美 (飯山北)		男子ノルディックCB 永峯寿樹 (飯山北) 男子リレー (飯山)		11 (4)
男子学校対抗 中野立志館			男子学校対抗 飯山						2 (0)		
スキー女子	女子リレー (飯山)	女子Gスラローム 傳田佳代 (飯山)	女子5kmC 滝沢こずえ (飯山) スペシャルジャンプ 丸山純(飯山) 【公開競技】	女子5kmF 滝沢こずえ (飯山)		女子5kmC 渡邊祐佳 (飯山) 女子5kmF 渡邊祐佳 (飯山)	女子5kmC 栗田 渚 (飯山)	女子5kmF 栗田 渚 (飯山) 女子スラローム 鈴木英祐子 (上田千曲)	9 (6)		
	女子学校対抗 飯山								1 (1)		
計	10 (4)	9 (5)	7 (6)	10 (2)	8 (19)	5 (9)	9 (7)	13 (9)	71 (61)		

()は平成24年度実績、スキー女子のスペシャルジャンプは公開競技のため入賞数にカウントしない。

基本目標評価調書【案】

基本目標	5 スポーツ界における好循環の創出に向けたトップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進
------	---

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	選手が県内を拠点に活躍するとともに、引退後も指導に携わるなどの好循環が創出されています
施策の展開	1 トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進 2 地域スポーツと企業・大学との連携

■ 評価

1 施策の達成状況

取組の主な成果の状況(25年度実績)

<p>○有望な選手が在籍する県内の企業・学校に訪問し、選手の競技活動のための環境整備について要請した。</p> <p>○「長野県広域スポーツセンター指導者派遣事業」において、総合型スポーツクラブの活動の充実と活性化を図るため、元オリンピック等トップアスリートを県内の総合型クラブへ派遣した(3名)。 ※3名(敬称略):石川和義(三段跳び)、酒井浩文(競歩)、野口京子(バレーボール)</p>
【進捗度】 努力を要する

2 課題と今後の取組方針

<p>○スポーツ界における好循環創出の方策を検討する「地域検討会議」を設置し、トップスポーツ選手を受け入れている企業・団体の実態、現役引退後の選手を受け入れている企業・団体の実態等について調査するとともに、長野県としての支援策について検討を行う。</p> <p>○本県出身選手は、競技生活を続けるため、支援の充実している県外へ流出している状況であり、その対策が急務であるため、国の就職支援制度「アスナビ」(双方向型マッチングシステム)の長野県版の構築について検討する。</p> <p>○本県出身選手の県内企業への就職について、関係団体等と検討を行う。</p> <p>○選手の立場から、雇用形態(一社雇用、複数社との競技活動資金支援契約、派遣社員契約等)や勤務条件(年次休暇等)についての研究を行う。</p>

3 スポーツ推進審議会の評価・意見

【評価】県の評価は である。

1 企業・学校訪問

(1) 目的

スポーツ振興と競技力向上のため、有力選手及び監督等の所属する企業・学校等を訪問し、活動支援を依頼するとともに、強化の現状や環境などについて把握し、必要に応じて助言を行う。

(2) 実施日

平成25年5月17日～5月31日

(3) 訪問数

合計85ヶ所 (企業6 学校62 クラブ14 官庁2 大学1)

(4) トップアスリート(現役オリンピック)在籍企業※

平成26年3月31日現在(スポーツ課調べ)

企業名	種目・人数
株式会社システックス	スケルトン・1人
株式会社電算	スケート・1人
北野建設株式会社	スキー・4人
社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	スケート・1人
日本電産サンキョー株式会社	スケート・3人

※ソチオリンピック出場者が在籍する長野県の企業

2 長野県広域スポーツセンター指導者派遣事業

(1) 目的

総合型スポーツクラブの活動の充実と活性化を図るため、専門的な指導力・知識を備えた種目別実技指導者を派遣する。

(2) オリンピアン等トップアスリート派遣実績

(五十音順、敬称略)

指導者	派遣先	指導内容
石川 和義	長野スポーツコミュニティクラブ東北 (長野市)	陸上競技クリニック ・走りの基本となるドリル ・パート練習(短距離・長距離・跳躍・投てき) ・参加者全員によるリレー・ゲーム等
酒井 浩文	木曾ひのきっ子ゆうゆうクラブ (上松町)	ウォーキング教室 ・ノルディックウォーキング ・森の中のウォーク ・ウォークラリー
野口 京子	この指とまれ☆しなの (信濃町)	バレーボール教室 ・体幹づくり ・基本姿勢の見本、実施 ・声の出し方、声のかけ方 ・試合に臨む心のあり方

基本目標評価調書【案】

基本目標	6 多面にわたるスポーツの果たす役割の活用
------	-----------------------

■ 施策の概要

5年後の目指す姿	スポーツの有する多面的な価値が県民の間で共有され、健康づくりや県内外の交流促進など、スポーツが「元気な信州づくり」を牽引しています
施策の展開	1 スポーツによる地域の一体感や活力の醸成 2 県内のスポーツ資源を活用した交流の促進と地域の活性化 3 スポーツを通じた健康で活力に満ちた健康長寿社会の実現

■ 評価

1 施策の達成状況

取組の主な成果の状況(25年度実績)

<p>○県ホームページを活用し、ソチオリンピック・パラリンピックに出場した本県関係選手の活躍の様子を日々更新したほか、新たにフェイスブックを立ち上げ、スポーツに関する多彩な情報を発信できるようにした。</p> <p>○県とプロスポーツチームとの連携事業を「包括連携協定」に基づき、人権啓発や献血啓発など11のテーマ(分野)で幅広く展開した。</p> <p>○スポーツ合宿について、誘致推進員を県東京観光情報センターに1名配置し、年間のべ400社以上の誘致営業活動を行い、約3,000人・泊の誘致につなげた。また、スキープロモーションにおいて、県内全小学生にスキーリフト優待券付きパンフレットを配布するとともに、「信州“Family Style”」を各種媒体を通じてPRするなどの活動を行った。(観光部)</p> <p>○青壮年期におけるメタボリックシンドローム等の予防や高齢期におけるロコモティブシンドローム等の予防にも配慮し、長野県版身体活動ガイドライン(ずくだすガイド)を作成し、県内4か所での研修会や県ホームページへの掲載を通じて、普及啓発に努めた。また、県ホームページにおけるウォーキングコース(22市町村、134コース)等の紹介を行った。(健康福祉部)</p>
【進捗度】 概ね順調

2 課題と今後の取組方針

<p>○全国的スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興など、スポーツで地域が元気になるような取組を進めるとともに、県民に元気と活力を与えてくれる本県関係選手の活躍の様子等については、引き続き積極的な情報発信を行っていく。</p> <p>○県内でのスポーツ合宿に対して、スポーツ合宿誘致推進員による誘致営業活動を行っていく。(観光部)</p> <p>○子どもたちとその家族に向けたプロモーションを通じて、「信州“Family Style”」を進め、家族でのスキー場への来場を促進していく。(観光部)</p> <p>○高齢者を含めた県民への運動習慣の定着を図るため、長野県版身体活動ガイドライン(ずくだすガイド)を活用しながら、県内市町村において運動支援ボランティアの養成が独自にできるよう養成講座のテキストを作成する。(健康福祉部)</p> <p>○ウォーキングイベントや健康コンテスト等、市町村や企業の健康づくりの取組を収集し、県ホームページ等で発信、普及していく。(健康福祉部)</p>

3 スポーツ推進審議会の評定・意見

【評定】県の評価は である。

平成 25 年度 包括連携協定に基づく事業実績

テーマ	事業概要
1) 選挙啓発活動への協力	・ホームゲームへの来場者に対し、啓発物品の配布、呼びかけ (7/13 パルセイロ)、(7/14 松本山雅)
2) 選手と観戦者の空港利用を支援	・県内プロスポーツチームに係る公式戦への出場又は観戦のため「信州まつもと空港」の発着便を利用した場合、抽選で長野県産品をプレゼント
3) 人権啓発活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発活動の中核的役割を担う「人権大使」の任命及びポスター等によるPR ・「いじめNO! 人権啓発スペシャルマッチ」と称した冠試合の実施 (7/14 松本山雅) ・入場ゲートで啓発活動の実施 (各チーム 4 試合ずつ) ・人権スポーツ教室の実施 (各チーム 2 回ずつ)
4) 障がい者のスポーツ振興	<ul style="list-style-type: none"> ・信州ブレイブウォリアーズのホーム公式戦前のイベントで、知的障がい者のバスケットボールの試合を実施 ・信濃グランセローズによる養護学校での訪問野球教室の実施 (5/24、6/21、8/23、9/6) ・信濃グランセローズによる障がい児野球教室 (8/1) ・信濃グランセローズ、長野パルセイロからホームゲーム観戦チケット提供
5) 児童虐待防止への協力	・ホームゲームにおける児童虐待防止キャンペーンの実施 (10/21 松本山雅)、(11/4 パルセイロ)
6) 献血啓発活動への協力	・ホームゲームの試合会場に献血車を配置し、来場者に対する献血への協力依頼 (8/11 パルセイロ)、(10/27 松本山雅)
7) 観光・物産のPR	・ホーム及びアウェイゲームを活用した県の観光物産のPR、「アルクマ」による賑やかし
8) プレゼントにチームグッズを利用	・県内プロスポーツチームグッズをスタンプラリー等のプレゼント商品に利用
9) おいしい信州ふーど (風土) のPR	・ホームゲーム及びアウェイゲームを活用しPR (5/3 松本山雅)、(8/11 パルセイロ)
10) スポーツイベントでの交流	・第 35 回スポーツ天国において、全 4 チームによるスポーツ教室の実施 (7/6)
11) 少年の立ち直りを支援	・選手と一緒に陶芸体験 (9/19 パルセイロ)、ミニサッカー教室の実施 (11/8 パルセイロ)